

令和 2 年 度

明石市水道事業上半期の業務状況の報告

明 石 市 水 道 局

# 目 次

- 1 まえがき
- 2 令和元年度決算の状況
- 3 令和2年度上半期の事業の概要

## 1 まえがき

地方公営企業法第40条の2第1項の規定により、令和2年度上半期の明石市水道事業の業務量、経営成績、財政状況及び令和元年度決算の状況について報告いたします。

## 2 令和元年度決算の状況

令和元年度の給水人口は前年度より622人増加の298,998人、給水戸数は1,227戸増加の142,945戸となっています。また、年間配水量は32,359,120 $\text{m}^3$ （対前年度比1.1%減少）、年間使用水量は31,465,043 $\text{m}^3$ （同2.3%減少）となり、1日最大配水量は101,570 $\text{m}^3$ （2月11日）で、前年度より1,270 $\text{m}^3$ の増加となっています。

次に財政面で、収益的収支については、事業収益6,120,085,477円に対し、事業費用は5,432,829,288円で、差引687,256,189円の当年度純利益となりました。この結果、令和元年度末の未処分利益剰余金は1,226,151,188円となっています。

事業収益では、受託工事収益が増加したものの、水道料金が大口使用者の使用水量の減少などにより229,312,632円（4.3%）減少したほか、施設分担金などが減少したため収益全体では204,534,473円（3.2%）の減少となりました。

これに対し、事業費用では、兵庫県から受託した工事の完了などにより工事請負費が増加しましたが、漏水修理箇所数の減に伴う漏水修繕等業務などの委託料や、舗装復旧件数の減に伴う路面復旧費などが減少したため、費用全体では25,994,482円（0.5%）の減少となりました。

次に、資本的支出では、第3次整備事業として161,215,346円をもって、魚住浄水場第3源井の電気工事を実施したほか、浄配水施設の整備等を行い、また、老朽化した配水管の布設替を行う老朽管整備事業に577,436,912円、その他の

建設改良事業等を含めた建設改良費全体では、1,017,837,591 円を執行し、これに企業債の元金償還額 678,883,572 円を加えた総額 1,696,721,163 円（うち仮払消費税及び地方消費税 74,033,593 円）を執行しました。

これらの資本的支出の財源には、企業債及び工事負担金などの資本的収入 269,589,965 円（うち仮受消費税及び地方消費税 1,176,284 円）を充てましたが、不足する額 1,427,131,198 円は、減価償却費等の損益勘定留保資金で全額補てんしております。

なお、決算の概要は次のとおりです。

(1) 業務量の状況		(前年度比較)
期 末 給 水 人 口	298,998人	0.2%
年 間 有 収 水 量	31,465,043 m <sup>3</sup>	△2.3%
普 及 率	99.992%	0%
(2) 収益的収支 (税抜き)		(前年度比較)
水 道 事 業 収 益	6,120,085,477円	△3.2%
水 道 事 業 費 用	5,432,829,288円	△0.5%
当 年 度 純 利 益	687,256,189円	
(3) 資本的収支 (税込み)		(前年度比較)
資 本 的 収 入	269,589,965円	610.5%
資 本 的 支 出	1,696,721,163円	△32.3%
収 支 過 不 足 額	△1,427,131,198円	

以上が決算の状況であります。

# 令和元年度決算報告書

## 収益的収入及び支出

収入（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業収益		6,120,085,477	
	営業収益	5,410,301,131	
	営業外収益	709,440,010	
	特別利益	344,336	

支出（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業費用		5,432,829,288	
	営業費用	5,256,463,701	
	営業外費用	173,400,862	
	特別損失	2,964,725	

## 資本的収入及び支出

収入（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的収入		269,589,965	
	企業債	210,000,000	
	工事負担金	13,450,370	
	他会計負担金	45,000,000	
	固定資産売却代金	1,139,595	

支出（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的支出		1,696,721,163	
	建設改良費	1,017,837,591	
	企業債償還金	678,883,572	

## 令和2年度上半期損益計算書

(令和2年4月1日から令和2年9月30日まで)

(税込み 単位：円)

費用の部		収益の部	
水道事業費用	1,363,523,536	水道事業収益	2,588,324,563
営業費用	1,279,742,621	営業収益	2,491,948,872
原水及び浄水費	732,362,218	給水収益	2,403,961,833
配水及び給水費	350,968,155	受託工事収益	1,856,619
受託工事費	4,145,533	その他営業収益	86,130,420
業務費	149,429,005	営業外収益	96,353,601
総係費	42,837,710	受取利息	1,884,254
減価償却費	0	他会計補助金	0
資産減耗費	0	長期前受金戻入	0
その他営業費用	0	雑収益	94,469,347
営業外費用	80,348,694	特別利益	22,090
支払利息及び 企業債取扱諸費	80,348,694	固定資産売却益	0
雑支出	0	過年度損益修正益	22,090
特別損失	3,432,221	その他特別利益	0
固定資産売却損	514,412		
過年度損益修正損	2,917,809		
固定資産除却損	0		
その他特別損失	0		
当期純利益	1,224,801,027		
計	2,588,324,563	計	2,588,324,563
当期末処分利益剰余金	1,340,952,215	当期純利益	1,224,801,027
		前年度繰越利益剰余金	116,151,188
		その他未処分利益剰余金 変動額	0
計	1,340,952,215	計	1,340,952,215

## 令和2年度上半期貸借対照表

(令和2年9月30日)

(税抜き 単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
固 定 資 産	34,981,239,993	固 定 負 債	8,121,261,242
有形固定資産	32,142,127,229	企 業 債	6,899,061,265
土 地	2,956,972,387	引 当 金	1,222,199,977
建 物	759,878,834	その他固定負債	0
構 築 物	23,859,487,276	流 動 負 債	1,181,985,804
機 械 及 び 装 置	4,022,489,778	企 業 債	353,866,679
車 両 運 搬 具	3,433,818	未 払 金	111,610,352
工 具 器 具 及 び 備 品	41,028,981	前 受 金	383,064,701
建 設 仮 勘 定	498,836,155	その他流動負債	333,444,072
無形固定資産	114,858,144	繰 延 収 益	6,218,713,877
施 設 利 用 権	114,858,144	長 期 前 受 金	6,218,713,877
投資その他の資産	2,724,254,620	資 本 金	18,181,704,014
投 資 有 価 証 券	0	資 本 金	18,181,704,014
出 資 金	3,000,000	剰 余 金	5,697,083,760
そ の 他 投 資	2,721,254,620	資 本 剰 余 金	1,496,288,100
流 動 資 産	4,419,508,704	利 益 剰 余 金	4,200,795,660
現 金 ・ 預 金	3,624,401,712		
未 収 金	372,903,694		
貸 倒 引 当 金	△ 3,740,000		
有 価 証 券	0		
貯 蔵 品	34,907,023		
前 払 費 用	0		
前 払 金	244,244,048		
その他流動資産	146,792,227		
計	39,400,748,697	計	39,400,748,697

### 3 令和2年度上半期の事業の概要

令和2年度上半期の業務状況は、前年度同期と比べて給水人口で674人増加の299,742人、給水戸数では905戸増加の143,450戸となっています。また、配水量は198千 $\text{m}^3$ （1.2%）増加の16,134千 $\text{m}^3$ となり、有収水量は156千 $\text{m}^3$ （1.0%）増加の15,960千 $\text{m}^3$ となっています。

次に経営面では、給水収益で399,268,450円（14.2%）、施設分担金などの営業外収益で28,974,248円（23.1%）それぞれ減少したため、事業収益全体で462,503,324円（15.2%）の減少となりました。この収益減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症に対する支援として、6か月分の水道基本料金を免除（上半期では7月～9月検針分を免除）していることによるものです。

一方、事業費用では、配水及び給水費で3,126,981円（0.9%）増加したものの、原水及び浄水費で293,921,631円（28.6%）、受託工事費で2,302,316円（35.7%）、総係費で4,827,061円（10.1%）、支払利息及び企業債取扱諸費で8,449,199円（9.5%）それぞれ減少したため、全体で305,488,277円（18.3%）減少し、当期純利益は1,224,801,027円（消費税等込み）で、前年度より157,015,047円（11.4%）減少しました。

建設改良面では、水の安定供給を図るため、浄配水施設の整備・改修、老朽管の布設替工事など、必要となる施設の充実化に鋭意努めました。

以上のように、本年度上半期は、費用が減少しましたが、費用以上に収益が大幅に減少したため、当期純利益は前年度を大きく下回る状況となりました。



令和元年度－令和2年度上半期実績比較

区 分	令和元年度上半期	令和2年度上半期	比 較
給 水 人 口	299,068 人	299,742 人	674 人
給 水 戸 数	142,545 戸	143,450 戸	905 戸
普 及 率	99.991 %	99.992 %	0.001 %
配 水 量	15,936 千m <sup>3</sup>	16,134 千m <sup>3</sup>	198 千m <sup>3</sup>
有 収 水 量	15,805 千m <sup>3</sup>	15,960 千m <sup>3</sup>	156 千m <sup>3</sup>
上半期増加給水人口	692 人	744 人	52 人
上半期増加給水戸数	827 戸	505 戸	△322 戸